

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 26 年 2 月 6 日			
所属学部・研究科	法学部 2 年次 (留学開始時点)			
留学先大学	マンチェスター大学 (国名:イギリス)			
所属学部・学科等名	School of Social Sciences			
在籍身分	Student			
留学期間	平成 25 年 9 月 12 日 ~ 平成 26 年 1 月 26 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: Student Visitor			
	ビザ申請先: なし。			
	取得方法, 提出書類: 観光ビザと実質変わらないがないため, 手続きは必要なし。 Immigration Control(出入国審査カウンター)に, 5ヶ月間交換留学する旨を申告し, 派遣先大学からのレターを見せるだけで入国させてくれる。			
	手続きに要した日数: なし。			
その他必要な事前手続き	特になし。			
出国年月日	平成 25 年 9 月 3 日			
経路	広島空港 → 上海空港 → ヒースロー空港			
現地での出迎え	有 (現地の友人)			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	9月11日~22日。いくつかのセッションへの参加は義務づけられている。日中はクラブ勧誘が多く, 夜は歓迎イベントでにぎわう。オリエンテーション期間中だけ実施される Coach Tour と ASDA(大型スーパー)往復バスサービスはおすすめ。			
帰国年月日	平成 26 年 2 月 2 日			
経路	ヒースロー空港 → 上海空港 → 広島空港			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	878,000	円	
	内訳	渡航費	152,000	円
		保険料	66,000	円
		教科書代(学費)	50,000	円
		宿舍費	300,000	円
		食費	90,000	円
		その他 (交際費)	20,000	円
(観光費)	200,000	円		
(費)		円		
3. 授業について				
2013 年 2 学期	9 月 23 日	~	1 月 24 日	

年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	授業選択は自由にできる。(一部例外あり) Credit(単位)が 10、20 のものと二つタイプがあるが、求められる勉強量は変わらない。一学期に 60 credits まで登録可能。一つの授業を取れば、2 lectures & 1 tutorial / week が基本となる。一コマは50分。
単位互換希望の有無	無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	授業にもよるが、reading の量が半端なく多い。Tutorial という少人数ゼミでは発言を求められる。学術面では思った以上に英語力が求められると思って準備したほうが後々よい。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	大学の寮
住居の広さ	約 15 m ² (約9畳) 同居人の有無 有 (7人)
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1ヶ月当たり £396 (現地通貨) 約 64,000 円
住居を決定した方法	<input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input checked="" type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	週末にフラットパーティーがあり、夜中騒がしくなる。自分の意見や不満などは、遠慮せず、きちんとフラットメイトに伝えるのが一番。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する病気・怪我等を	しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	掛けた
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	5ヶ月 65,840 円 補償額 死亡 10,000,000 円, 治療・救済費用 100,000,000 円 その他 ()
留学前後での予防接種の必要の有無	無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について不安が	なかった
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	現地で利用しなかったので不明。Medical Register は必須。UK 滞在者が、緊急事態にどの病院でも治療を受けられるように、個人情報 (健康状況) をあらかじめ登録しておく制度

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	日本で暮らすのと同じことを注意していれば問題ない。一部の人が、水道水の塩素濃度が高いから、と浄水器を使用していた。特に問題はないと思うが、気になる人は浄水器の購入を検討するのも一手。2L ミネラルウォーターを定期的に仕入れる方法もある。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
危険だとされる区域や地域は特になし。ただ、夜中の一人歩きを狙った強盗などのニュースはよく耳にしたので、注意が必要だと思う。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
ALDI や Morrison などの比較的安めのスーパーが大学の近くにあるので、自炊(self-catered)の寮に住む予定の人には助かる。大学の近くのバス停から、大学とシティーセンターを結ぶ無料バスを市が運営している。本数は少ないが利用価値あり。日本に比べ映画入場券が安い。Subway(ファーストフード店)の人気が高い。スーパーではイギリスのデビットカードのみ使用可(日本のクレジットカードは使用不可。)その他の店では基本的に日本のクレジットカードで支払いができた。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 28 年 3 月 (当初の卒業予定年月 平成 28 年 3 月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	卒業期を伸ばさないために、2年の後期(4セメ)に一学期間(5ヶ月間)の短期留学を決めた。ロースクール進学予定。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	卒業期を伸ばさずに留学をしたいなら、2年の後期(4セメ)だけ交換留学するのがいいだろう。卒業期に関係なく、留学前は必修科目の単位習得は確実にしておいたほうがよい。	
6. 留学準備, 留学中に役立つ書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細(出版社, URL等)	コメント
National Rail Enquiries	http://www.nationalrail.co.uk	UK内の電車のネット予約ができるサイト
Academic Phrase Bank	http://www.phrasebank.manchester.ac.uk/index.htm	Essay作成時に利用。
BBC iPlayer TV	http://www.bbc.co.uk/iplayer/tv	BBCのTV放送が視聴可。(UK国内のみ)
7. 自由記述(後輩へのアドバイス等)		
留学を通して、日本では体験できないようなこともたくさんできた。新しいことにチャレンジしたり、自分の視野を広げたりするには留学はもってこい。ただし、留学の目的は明確化しておかないと、渡航後にモチベーションを維持するのは難しいかもしれない。授業についていけるように、日本にいる間から英語力は鍛えておいたほうがよい。		



学習の概要に関するレポート

HUSA (Hiroshima University Study Abroad) プログラムで、イギリスのマンチェスター大学に一学期間 (2013/9/12 ~ 2014/1/26) 交換留学をしました。

当初は法律学を現地でも受講したかったのですが、留学申請時の英語力 (TOEFL score) が受講の基準を満たしていなかったため、代わりに「国際政治学」「哲学」「経済学」「言語学」の授業を選択しました。受講した科目が分野的に異なったため、求められる学術的な技能—例えば論文作成様式など—に違いがあり、課題作成時や期末試験時には注意が必要でした。

授業、チュートリアル (少人数制ゼミ) は一コマ50分単位です。一つ授業を選択すると、基本的に週に2コマのレクチャー、1コマのチュートリアルを受けることになります。私は4つ授業を登録したので、週にレクチャーが7コマ、チュートリアルが4コマありました。日本の大学に比べ、一学期間に受講する授業数が少ない代わりに、一つの授業でカバーする学習内容が広く、掘り下げた論点まで扱っていると感じました。

課題の量が非常に多いです。特にリーディングをしてくることを求められました。授業で取り扱う範囲の内容について生徒はあらかじめ教科書を読んで、理解していることを前提に、授業は進みます。一週間の課題の量がA4サイズの教科書100ページということもあります。ネイティブ向けに開講される授業なので、専門用語も多く、英文構造が複雑な場合が多いため、留学生の私は非常に苦労しました。一字一句読んでいたら課題が終わらないので、ポイントだけを拾い上げて読むことが多かったと思います。

英語学習者のためのサポート制度も充実していました。大学側が留学生向けにアカデミック英語の講座を無料で開講していて、「文法」「発音」「スピーキング・リスニング」「ライティング」のクラスに出席しました。

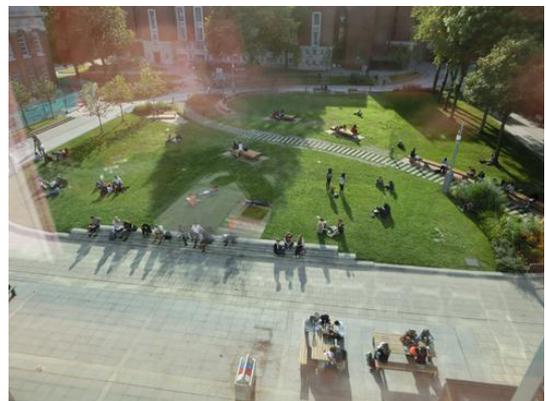
勉強する環境は非常に整っていました。図書館は清潔・快適で、一部のオープンスペースを除きとても静かな場所でした。館内にはインターネット接続可能なパソコンや印刷機も備えており、グループ閲覧室の利用も簡単にできました。学期期間中24時間利用可能な Learning Common で夜遅くまで学習することもありました。

授業選択自由で、留学生サポート制度も充実し、学習環境も非常に整った派遣先大学で一学期間学ぶことができたことは非常に有意義だったと思います。

HUSA プログラムでは、提携大学の決定後は、大学の寮との契約、海外保険の加入、留学願の提出、フライト予約などの渡航準備は自主的にしなくてははいけません。もちろん不明な点は相談すれば親切に応じてくれますが、手続きは各自でやる必要があります。海外でより求められる自主性を日本にいる間から意識して身につけることができました。プログラムに関しては、全般的にとっても満足しています。留学終了後、留学の経験を次のステップにつなげるサポートや機会の提供があれば更によいのかもしれない。



Learning Common (24 時間 open 学習スペース)



大学敷地内

生活の概要に関するレポート

留学期間中はマンチェスター大学が運営する **Grosvenor Street Building** という寮に下宿しました。同大学に前年度派遣された広大の先輩からアドバイスをいただき、キャンパスもシティーセンターも徒歩圏内でロケーション的には最高の場所を選ぶことができました。ただそれぞれの寮に特徴があるので他の寮も検討の価値はあります。大学から少し離れた所(**Victoria Park Campus**)に、もっと静かで設備の良い寮もあれば、パブやクラブが近くにたくさんあって、ナイトライフをエンジョイする人が集まる寮が密集する **Fallowfield Campus**。家賃はどれも週£99~120 とあまり変わらないので、自分が留学先でどういう生活をしたいかで決めるのがよいと思います。

下宿した寮は8人制のフラットで、4人がイギリス人、他にチェコ、シンガポール、中国から来たメンバーで国際色に富んだ環境でした。イギリス人はビールが大好きで、週末は毎週のように飲み会(フラットパーティー)をします。そのため夜中騒がしいことも多かったです。

自炊(self-catered)制の寮だったので、スーパーをよく利用しました。大手スーパーTESCOやSainsbury'sは、品揃えは良いのですが高価格です。経済的にいくならALDIやMorrisonがうってつけです。どの店もキャンパスの近くにあるので助かりました。日本料理を作るための調味料(味噌、醤油等)はチャイナタウン(シティーセンターの近くにある)で、値は張りますが手に入れることはできます。

基本的にマンチェスターの物価は日本とあまり変わりませんでした。食品に関して言えば、ポテトや玉葱は日本よりもかなり安く手に入りますが、それ以外は大した差はないです。シャンプー、石鹸、化粧品等も日本で売られているのと同じ価格で同じ製品が買えます。

キャンパスは中心市街から徒歩20分ほどのところに位置し、バスを利用することもできます。私の場合はバスで移動することが多かったので、7日間バス乗り放題券(Mega Rider)を£12ほどで購入していました。

イギリスの中央部に位置するマンチェスターは、週末や長期休暇の際にイギリス観光をするには最適のロケーションです。鉄道を利用する場合、切符購入は、事前予約が早ければ早いほど割引率も高いです。また、年会費£30のRail Cardを発行すれば、切符購入ごとに30%OFFの割引を受けられます。移動手段として長距離バスは、鉄道に比べ時間は2倍以上かかりますが、とても経済的なので予算を抑えたい場合に有効でしょう。

携帯は現地で購入したほうがよいです。日本の携帯を現地で使うと膨大な通信費がかかりますし、日本で発売されている携帯はロックされているので、契約している通信会社(au, DoCoMo, Softbankなど)のSIMカードでしか使用できません。現地で携帯を購入した場合、使用方法は大きく分けて二つあります。必要最低限の連絡でしか携帯を使用しない場合は、**Top-up** といって、£5、£10ごと携帯にチャージしていく方法がおすすめで、アプリを利用したり電話やメールを頻繁にしたりする場合は、月に£15~£20で現地の通信会社とSIMカード契約をするほうがお得です。

冬のシーズンにマンチェスターに滞在した感想は、西条よりは寒くないということ。湿度の関係で、日本のように切れるような寒さではありませんでした。しかし十分な防寒対策は考えておいたほうがよいでしょう。幸い、寮の中や教室内は非常に暖かかったです。

衣類は非常にお手頃価格のPrimarkや、他にもTopman/Topman, H&M, TKmax等ですぐに手に入るなので、多く服を持っていく必要はないと思います。

最後に安全性について。マンチェスターは大都市なので、窃盗やスリなどの軽犯罪が多い街です。特に夜の一人歩きを狙った犯行や、置き引きなどは日常茶飯事だとニュースで耳にします。過剰な心配は不要だと思いますが、日が暮れたら人通りの多い所を歩く、貴重品はいつも身につけておくなどの注意は必要です。



寮



マンチェスター大学